

# 平成27年度事業計画

## 社会福祉法人徳峰会 ひさやま保育園杜の郷

### 理 念

子どもの最善の利益を守るため、その養育に携わる保護者、地域、行政と力を合わせ久山町の地域の子として健やかな育ちを見守り保障することをめざします。

### 基 本 方 針

1. 法人に関わる人は保育をめぐる新しい情勢を学び、法人の機能を高めます。
2. 子ども、保護者、職員が共に育ち会える保育、行事、人間関係づくりをめざします。
3. 保育の専門性を高めるため、専門家、専門機関との連携・協力を広げます。
4. 保育園の専門性と機能を生かし、地域の子育て支援センターとしての機能を広げます。

### 経 営

1. 「子ども・子育て新制度」がスタートしましたが、理解が充分でない保護者の戸惑いに応えられるよう法人としての学習を深めます。
2. 保育情勢や法人改革についての学習を行います。
3. 園舎の補修（屋根、外壁、錆落とし）について町と協議しながら進めます。

### 施 設 運 営

1. 野外活動の充実  
野外保育「森のムッレ」のとりくみを充実し、晴の日の野外活動、雨の日の野外活動、それぞれ内容の充実を図ります。柔軟な心と体を育成し自然を大切にする子どもを育てたいと思います。また、異年齢集団の「なかよしなかま」3人組での日常のつながりを強め友だちを思いやる心を育てます。
2. 心身の発達充実  
初心に立ち返り、子どもの「生活リズム」を整え、子どもらしい本来の生活を取り戻し心身ともに健康な育ちを保障する保育をつくるため、保育士と家庭双方向の理解と努力を重点目標とします。
3. 職員集団の育成  
職員構成の変化が著しく、非常勤職員が例年より増える傾向があります。保育の質を落とさないためには、核となるリーダーがそれぞれのクラスで活動の確認と保育の構えについて育成を行う必要があります。外部講師を加えたり、近隣園での合同研修などの取り組みを企画するなど、職員養成を重点に据えたいと思います。

#### 4. 安全意識の向上

個人の意識だけでなく、園のシステムとして保育環境の安全を保障するため安全点検、苦情（クレーム）に対する全体の会議を持ち、組織のあり方や連携について細かに情報を共有し、保護者への説明会、園便り等で伝え理解をはかります。

#### 5. 療育支援、

久山町で小学校への継続支援事業としての取り組みがなされ月に3名の臨床心理士が来園されるようになりました。発達支援の必要な子どもについて保育士全体でのとりくみを統一し、丁寧な発達援助ができるようにします。専門家の力を借りながら保護者の「子育て相談」を月1回程度実施できるようにします。

### 保護者会

#### 1. 保護者会との連携

- ① 保護者の交流をはかるため茶話会やお祭り、おやじの会の活動を深めます。
- ② 定期的なアンケートで保護者の要望を把握し、園たよりでの回答、保護者会役員との面談、園側との面談、の三段階に分け希望を聞くようなしくみができました。今後の有効活用で活かします。

#### 2. 学習

子どもが日常触れている教材について、保護者が理解し子どもの成長について話し合いができるよう保護者会学習会を企画します。

### 地域とのつながり

#### 1. 子育て支援センター「木子里」の充実

- ① にこにこひろば、赤ちゃんの部屋などで地域の親子とのつながりが深まり子育ての身近な相談役の働きができつつあります。町から貸与の畑で芋作りや夏野菜の栽培を親子で経験しています。また、野外を「ちょこっと散歩」する企画に乳幼児の親子連れが参加して久山の自然と四季にふれる良い機会となっています。これらをさらに充実させていきます。
- ② 昨年に引き続き4か月、7か月、12か月検診に出向き、スマホ、DVDでの子守の危険性について乳児のメディアとのつきあい方や遊びの提案をおこないます。
- ③ 引き続き、2歳児の発達のための「たんぽぽ組」を実施します。
- ④ 観劇会を企画し、久山町内の届出園「かじか園」「みそら園」「せいこく園」の子どもたちと交流します。

#### 2. 「祭りひさやま」への参加

「祭りひさやま」に年長さんが参加し、ステージ発表と作品展示を行います。